

## 心温まるお話

月曜の朝、2年A組の学級通信が机に置かれていました。そのタイトルが「去年から飼っていた魚が死にました、、、」というショッキングなものでした。けれどもその内容は…………

以下、榎木先生の許可を得て、転載します。(少し省略しています)

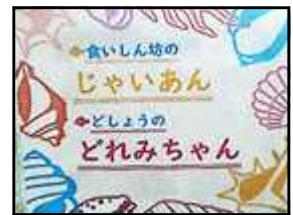
### 去年から学年で飼っていた魚が死にました、、、

金曜日に突然すべての魚が死んでしまいました。(中略)

去年渋谷先生が、水槽を手入れして、始めてくれた魚の飼育は、みんなも結構興味を持って観察していたし、生活の一部になっていった

ような気がします。そんな魚たちが死んでしまってすごく悲しい気持ちでいっぱいでした。なにより、渋谷先生が残してくれたものをなくしてしまったような気がして、本当に悲しかったです。でもそんな悲しさを吹き飛ばしてくれる出来事がありました。

またあの水槽で、生き物を飼育しようと思い、土曜日の朝、クラブが始まるまでに水槽を掃除していたときでした。職員室に「榎木先生！教室の魚が死んだから、昨日取りに行ってきました！」と佐々木泰誠君と御前翔太君が、その手に魚を持って来てくれたのです。なんと金曜日の放課後、2人の他に、乗原夕空君、江川大智君、池田聖愛君で魚取りに行ってくれたようです。ええ奴かよ！！職員室で1人だったら涙を流していたかもしれないぐらい、嬉しかったです。なにかしよう、何とかしようとおもって掃除をしていたところだったからかもしれませんが、そうやって取りに行ってくれた気持ちと行動が本当に嬉しかった。新しく2Aの仲間になったこの魚たちはみんなで大事に育てましょう。でも、1年以上生活を共にした、「じゃいあん」と「どれみちゃん」が死んでしまったことは、忘れてはいけませんね。命あるものを大切にしよう。



榎木先生によると、他にも「うちにも鯉の子もいるから持ってこようか？」などと言ってくれる生徒が何人もいたそうです。こんな温かい生徒のいる保田中学校が本当に誇らしく思えました。

このようなことは、きっと私が知らないだけで沢山起こっているのだと思います。

『心温まるお話』がシリーズ化できると嬉しいなと思っています。